

〇〇年〇〇月〇〇日

札幌市長 様

申請者 住所 札幌市〇区〇〇〇条〇丁目△番△号

氏名 株式会社□□□□ 代表取締役 〇〇 〇〇

（法人にあつては名称及び代表者の氏名）

電話番号 〇 1 1 - \* \* \* - \* \* \* \*

札幌市ペット動物等火葬施設設置に係る事業計画書

札幌市ペット動物等火葬施設設置に関する指導要綱第7条の規定により、下記のとおり事業計画書を提出いたします。

記

事業所の名称	ペット焼却〇〇センター
事業所の所在地	札幌市〇〇区〇〇△△△番地
事業所の規模 （敷地面積）	3,000 m <sup>2</sup>
火葬対象物 <sup>注1</sup>	ペット動物 ・ 死者の遺品等
設置する焼却炉数	1 炉
火葬施設の概要	別紙1のとおり
近隣の住民からの 意見を事業計画書に 反映させた箇所	周辺から見えないようにため、焼却施設周辺に木々を植樹すること。 自然環境を保全するため、100台の計画だった駐車場を15台とした。

注1 該当する部分に○を付けてください。

別紙 1

ペット動物等火葬施設の概要

項 目		説 明
周辺整備等	敷地周辺	緩衝緑地
	塀 (材質、高さ等)	敷地境界東、西、南側に2～3メートル程度の高さの木々有 塀はなし(壁の代わりに木によって見えないようにしている)
	雨水の処理	地下浸透
	排出水の放流先	なし (汚水及び生活排水については合併浄化槽を設置し、 処理水を地下浸透により処理する)
その他	定期的に樹木の伐採等整備を図る	
焼却炉	焼却炉が設置されている建築物の概要 (囲い状況、寸法等)	RC造 (幅)5m×(奥行き)15m×(高さ)4m
	焼却行為が外部から見えないような措置 (囲い状況等)	焼却する場所については、 外部から直接見えないよう、窓の設置場所を考慮した。
	焼却炉の規模及び構造等	別紙2のとおり
祭壇施設	祭壇施設の大きさ(寸法)	(幅)2m×(奥行き)1m×(高さ)2m
	祭壇の設置場所	焼却炉が設置されている建物内に設置 (詳細については別添配置図参照)
保管庫	保管庫の大きさ (階数及び寸法)	1階建て (幅)2m×(奥行き)3.5m×(高さ)2.5m
	保管物の種類	ペット動物の死体
	保管期間	最大1週間
	保管庫の床面構造(材質等)	コンクリート
	保管庫の容量	17.5 m <sup>3</sup> (約7日分)
関連設備の概要	管理事務所の規模	階数 2階 (幅)5m×(奥行き)8m×(高さ)6m
	駐車場の規模 (駐車可能台数及び面積)	15台 (350 m <sup>2</sup> )
	その他	管理事務所は待合室を兼用とする。 また、管理事務所にトイレを2つ設置。 利用者にも使用可能とする。
公害対策及び維持管理に関する事項		別紙1-1のとおり

公害対策及び維持管理に関する事項

公害対策に関する事項	
事業所からのばい煙の発生防止について	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌市生活環境の確保に関する条例及び同施行規則に定める焼却炉の管理に関する基準に沿うよう運転を行い、公害の発生を未然に防止する。</li> <li>焼却炉のメンテナンスを年 2 回行う。</li> </ul>
事業所からの悪臭の発生防止について	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 次燃焼バーナーを適切に運転し、2 次燃焼室が 800℃以上になるなど、焼却炉から悪臭が発生しないよう管理を行う。</li> <li>ペット動物を直ぐに焼却しない場合には、冷凍庫（1600L）に保管するなどし、悪臭の発生防止に努める。</li> </ul>
事業所からの騒音等の発生防止について	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅地が近くにあるため、音が大きい作業を行う場合には、窓を閉めて行うなど、周辺的生活環境に配慮した作業を行う。</li> </ul>

維持管理に関する事項		
清掃及び整理整頓について (頻度、内容等)	焼却炉	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃は 1 回/週を基本とする。日常的に使用する部分は、焼却の都度、清掃を実地する。</li> <li>1 日、1 回炉内を清掃し、焼却灰を集める。</li> <li>ばいじんについては、月 1 回煙道等清掃を行い、焼却灰とともに適切な容器に収容・保管する。</li> </ul>
	付属施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃は 2 日に 1 回行う。</li> <li>整理整頓については毎日業務終了後に行う。</li> </ul>
	周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃は 1 回/週を基本とする。また、周辺の草刈は、年に 2 回行う。</li> </ul>
動物死体の運搬に当たっての方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部から搬入する際は、構造物の陰になるなど、外から見えないように配慮します。</li> <li>集骨の際も同様な注意をします。</li> </ul>	
ねずみ、蚊、はえその他の害虫の発生防止について	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設周辺の草刈を随時行います。</li> <li>供物等の管理に注意し、ねずみ、はえ等の発生に注意します。</li> </ul>	
焼却灰の処理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に炉を清掃し、集めた灰等を袋に入れ、2 重にする。</li> <li>ばいじん及び焼却灰は、飛散しないよう容器（廃棄物保管箱）に収容します。</li> <li>保管に当たっては、廃棄物及び清掃に関する法律の保管基準を遵守します。</li> <li>2 週間に 1 回産業廃棄物として処理します。</li> </ul>	

## 別紙2

## 焼却炉の構造及び使用の方法等

焼 却 炉 番 号		No.○					
名 称 及 び 型 式		(株)○○ AS-200PET-BURN					
設置(変更)工事着手予定年月日		○○年 6月11日			年 月 日		
使用開始予定年月日		○○年 9月12日			年 月 日		
規 模	火 格 子 面 積 (m <sup>2</sup> )	(火格子なし)					
	一 次 燃 焼 室 容 積 (m <sup>3</sup> )	2.4					
	二 次 燃 焼 室 容 積 (m <sup>3</sup> )	0.8					
	焼 却 能 力(kg/h)	150					
使 用 方 法	1 日 の 使 用 時 間 及 び 月 使 用 日 数 等	9時～19時 10時間/日 22日/月			時～時 時間/日 日/月		
	使 用 期 間	4月～3月			月～月		
使 用	種 類	A重油					
	燃 料 中 の 成 分 割 合 (%)	灰 分 0.003 %	いおう分 0.77 %	窒素分 0.02 %	灰 分	いおう分	窒素分
燃 料	発 熱 量 (MJ/kg)	45.30					
	通 常 の 使 用 量 (重油換算ℓ/h)	30 L/h					
	混 焼 割 合	—					
ばい煙の 濃 度	ば い じ ん (g/m <sup>3</sup> N)	最大 0.15	通常 0.10	最大	通常		
ばい煙の 処理施設	種 類	サイクロン					
	捕集効率 (%)	90					

注1 燃料中の成分割合の欄に記載に当たっては、重量比%又は容積比%の別を明らかにしてください。

2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度に換算した値にしてください。

3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度を記入してください。